

2022年度環境経営レポート

対象期間：2022年8月～2023年7月



発行日：2023年10月31日



承認	起案
社長	環境管理責任者

西岡建設株式会社

(兵庫県加西市三口町132-1)

(目 次)

1. 組織の概要と対象範囲	3
2. 環境経営方針	4
3. EA21環境経営システム 役割、責任及び権限 <実施体制図>	5・6
4. 環境経営目標とその実績	7
5. 環境経営計画の取組結果とその評価(2022.8～2023.7)、次年度の取組内容	8
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
7. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	10
8. その他	10

1. 組織の概要と対象範囲

(1) 事業所名 : 西岡建設株式会社

代表者氏名 : 西岡 和紀

(2) 対象事業所

本社 : 兵庫県加西市三口町132-1

倉庫 : 兵庫県加西市三口町136-1

加西資材置場 : 兵庫県加西市三口町458

高岡資材置場 : 兵庫県加東市高岡北中山2448

注 : 但し資材置き場には人は在駐せず、無人です。

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

*環境管理責任者 : 花井 紀文 (工事部門長)

*連絡担当者名 : 西岡 智子 (総務部門長)

*TEL : 0790-48-2343 FAX : 0790-48-2890

(4) 対象事業活動

総合建設業 (土木工事業、建築工事業、舗装工事業、水道施設工事業)

建設業許可番号 兵庫県知事(特一3)第350376号

対象事業年度 2022年度(2022年8月～2023年7月)

(5) 事業規模

活動規模	2020年度	2021年度	2022年度
売上高(百万円)	872	745	603
従業員(人)	10	10	11
床面積(m ²)	360	360	360

(6) 主な環境負荷の状況

環境負荷項目	2020年度	2021年度	2022年度
電力の二酸化炭素実質 排出係数(kg-CO ₂ /kWh)	0.318	0.318	0.311
軽油の排出係数(kg-CO ₂ /L)	2.58	2.58	2.58
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	101,519	137,400	141,222
廃棄物排出量 (t)	399	541	660
水使用量 (m ³)	222	208	205

2. 環境経営方針

1. 環境理念

当社は『熟慮・断行』という社是に基づき、誠実で堅実な経営と、不断の改善を通じて、顧客と社会から信頼され、満足していただける品質を提供すると共に、環境に配慮できる企業として、全社一丸となって環境経営システムを構築・運用し、自主的・積極的に環境経営の活動に取り組みます。

2. 活動指針

当社は、総合建設業(土木工事業、建築工事業、舗装工事業・水道施設工事業)の事業活動を通じて次の項目に取り組みます。

- (1) 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
- (2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し汚染の予防と継続的改善に努めます。
- (3) 当社の環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減<電力使用量の削減、自動車燃費の向上>
 - ② 廃棄物排出量の削減<一般廃棄物や建設廃材の分別の徹底と削減>
 - ③ 総排水量の削減 <上水使用量の削減>
 - ④ 環境に配慮した施工及び建設資材の使用の推進
- (4) 建設現場において環境への取組を自己チェックし、環境負荷を削減する。
- (5) 環境経営方針の維持・継続のための環境に関する知恵の取得
(ITCへの取り組み)
- (6) この環境経営方針は当社全従業員に周知すると共に、環境経営レポートを公開します。

制定日 2009年 10月26日

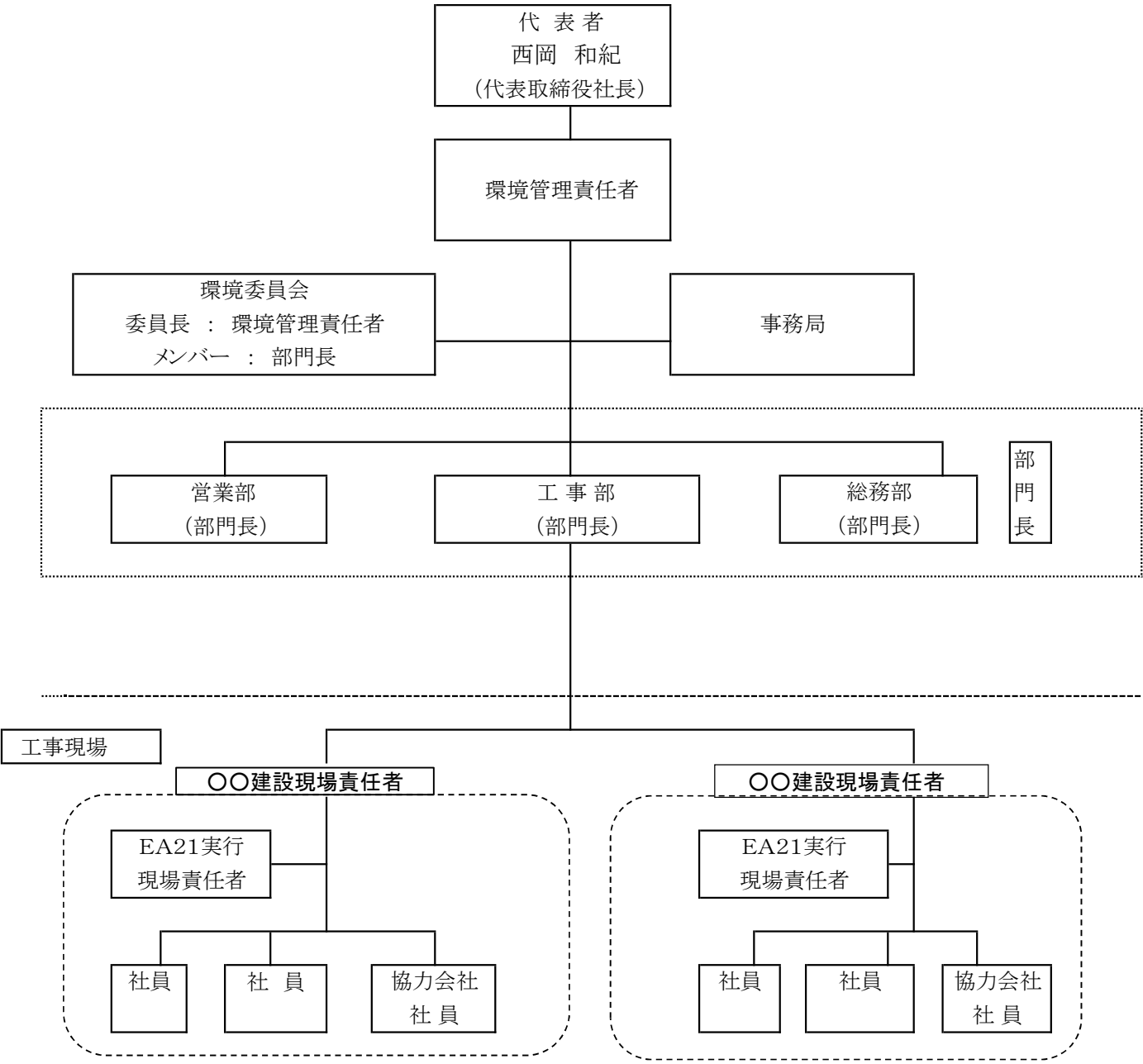
改定日 2022年 8月 1日

西岡建設株式会社

代表取締役 西岡 和紀

3. EA21環境経営システム実施体制図と役割、責任及び権限

＜実施体制図＞



<役割、責任及び権限>

役 割	担当者	責 任 ・ 権 限
代表者	西岡 和紀	①教育方針の制定(環境理念及び活動指針)と周知 ②環境経営システムの最高責任者 ③環境経営管理責任者の任命 ④環境経営目標・活動計画と進捗管理表の承認 ⑤環境経営活動全般の取組状況評価と見直し ⑥環境経営レポートの見直し・承認 ⑦システムを運営し、維持するための経営資源を用意する。
環境管理責任者	花井 紀文	①環境経営システムの構築と運用、並びに代表者への状況報告 ②外部からの苦情等の受付と必要な対応、及び結果の記録 ③環境経営計画の進捗状況の確認評価と是正・予防の指示、管理 ④年度緊急訓練計画の立案と実施及び教育と訓練の総括 ⑤環境関連法規制及びその他要求事項の調査及び遵守と届出 ⑥環境経営レポートの作成
環境委員会 (事務局)	西岡 智子	①環境経営目標及び年間計画を検討し成案とする ②環境問題の改善策の検討、情報のまとめ、課題の整理 ③環境文書及び記録等の管理の元締め
各部門		①年度環境経営目標の展開と報告 ②関連法規の遵守 ③部内環境教育の実施

4. 環境経営目標とその実績

当社の主な環境経営目標と対象活動期間の実績は次の通りです。個々の環境経営目標は「環境経営目標及び環境経営計画と進捗表」を活用し展開しております。

年度の目標及び実績 項目 (単位)			2021年度	2022年度				2023年度	2024年度	2025年度
			実績					(2021年度を基準値とする)		
			2021.8～ 2022.7	2022.8～2023.7 (12ヶ月)				2023.8～ 2024.7	2024.8～ 2025.7	2025.8～ 2026.7
			基準値	目標	実績	達成率%	評価	目標	目標	目標
電力	使用量	kWh	26,879	26,610	22,561	115	○	26,073	25,804	25,535
	削減率(基準年比)	%	－	1	16	－	○	3	4	5
	CO2排出量	kg-CO2	8,548	8,463	7,016	117	○	8,292	8,206	8,121
軽油	自動車燃料	L	11,775	11,657	11,774	99	×	11,422	11,304	11,186
	燃費の向上	km/L	5.2	5.3	5.2	98	×	5.4	5.4	5.5
	CO2排出量	kg-CO2	30,380	30,076	30,377	99	×	29,469	29,165	28,861
	燃料削減率(基準年比)	%	－	1	0	－	－	3	4	5
	重機の燃料	L	33,640	33,304	36,219	91	×	32,631	32,294	31,958
	CO2排出量	kg-CO2	86,791	85,923	93,445	91	×	84,187	83,319	82,451
	燃料削減率(基準年比)	%	－	1	-8	－	－	3	4	5
ガソリン	自動車燃料	L	5,035	4,985	4,717	105	○	4,884	4,834	4,783
	燃費の向上	km/L	14.0	14.3	14.0	98	×	14.4	14.6	14.7
	CO2排出量	kg-CO2	11,681	11,564	10,943	105	○	11,331	11,214	11,097
	燃料削減率(基準年比)	%	－	1	6	－	－	3	4	5
CO2総排出量 (合計)		kg-CO2	137,400	134,652	141,781	95	×	133,278	131,904	130,530
廃棄物	産業廃棄物の排出量	t	543	538	660	77	×	532	527	521
	削減率(2021年度比)	%	－	1	-22	－	－	2	3	4
	一般廃棄物の排出量	t	0.1	0.1	0.1	100	○	0.1	0.1	0.1
上水	上水使用量	m3	208	206	205	100	○	204	202	200
	削減率(基準年比)	%	－	1	1	－	－	2	3	4
環境負荷	建設現場での 環境負荷低減 自己チェックポイントの目標	%	100	100	100	100	○	100	100	100

- * 都市ガスは使用していません。
- * 2021年度の電力のCO2排出係数は2019年度関西電力の調整後排出係数0.318kg-CO2/kWhを使用しています。
- * 2022年度の電力のCO2排出係数は2021年度関西電力の調整後排出係数0.311kg-CO2/kWhを使用しています。
- * 軽油については、自動車用と重機用に区分して管理しています。
- * 記載の数値については本社および現場の合計であり、環境経営目標及び環境経営計画と進捗管理表に基づいています。
- * CO2総排出量には建設現場での使用量も含まれていますが、電力は事務所分のみの使用量を計上しています。
- * 達成率 : $\text{達成率} = \{ 1 + (\text{目標値} - \text{実績値}) / \text{目標値} \} \times 100 (\%)$
燃費の達成率 $= \{ 1 + (\text{実績値} - \text{目標値}) / \text{目標値} \} \times 100 (\%)$
- * 削減率 : $\text{削減率} = \{ 1 - (\text{目標値又は実績値}) / \text{基準値} \} \times 100 (\%)$
- * 化学物質の使用はなく、環境経営目標の設定はしていない。

5. 環境経営計画の取組結果とその評価(2022・8・1～2023・7・31)、及び次年度の取組内容

環境経営目標区分	取組の領域	主な取り組み	取り組み結果の評価	次年度の取組内容
電力使用量の削減	事業所	1. 冷・暖房の適切な温度管理 2. 空調機のフィルターの清掃 3. 不使用時や部分消灯 4. 節電シールの貼り付け	○ ステッカーを貼り従業員に周知している ○ ○ 部分消灯はできている ○ 節電シールは添付している	1. 取組の継続 2. 新たな削減策の掘り起こしとその展開
軽油・ガソリン使用 自動車燃料の削減 建設機械燃料の削減	建設現場	1. 急発信、急加速、急停止の禁止 2. 運転日報記入 3. 重機の軽油燃料の使用量	○ 朝礼や工程会議で周知 ○ 運転日報の記入はほぼできてきている 重機の使用燃料のCO2排出量が一番多い	1. 取組の継続 2 重機の使用時間が増えると使用燃料も増えるが、気をつけて使うようにしよう
廃棄物分別の徹底	事業所 (一般廃棄物)	1. 紙類のリサイクルの推進 2. 詰め替え用品の利用	○ 段ボール・雑誌類等はリサイクル業者の保管場所へ持ち込む ○ 事務所の消耗品等は出来るだけ、詰め替え用品を使用するようにしている。	1. 引き続き朝礼や工程会議でこの意義の浸透を図っていく 2. 詰替用品等を利用する
	建設現場 (産廃)	1. 分別対象物を設定する 2. 区分ごとに分別表示をする	○ スレート・ボード等バックカンを区別する ○ 工事内容により発生する量も増えることがある	3. 廃棄物を区分し、産廃業者への引き取りを依頼する 4. 倉庫内の整理整頓をする
上水使用量の削減	事業所	1. 節水シールを貼る 2. 出しっぱなしにしない 3. 洗浄の際、洗剤を適正使用する	○ 節水シールを張る ○ 出しっぱなしにしない ○	1. 継続
環境負荷の低減	建設現場	1. 当社業務の環境負荷を低減させる工法の調査 2. 騒音、振動、廃棄物分別等環境負荷チェックリストの活用による低減	△ これまでも負荷低減工法と思われる業務もある。何を判断基準とするかを決める必要がある ○	1. 情報を基に負荷低減法の導入を進める (費用も考慮に入れて) 2. 環境負荷チェックリストの活用継続と、内容の見直し

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 主要な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規及び条例	遵守すべき要求事項	遵守評価 (2023年7月30日)
1. 廃棄物処理法	・一般廃棄物の収集・運搬業者の許可の確認 ・産廃の収集・運搬及び処分業者の許可の確認・契約 ・マニフェストの交付と管理及び交付状況の報告	遵守
2. 騒音規制法	規制基準	遵守
3. 振動規制法	規制基準	遵守
4. 建設リサイクル法	・特定建設資材の再資源化（業者へ引き渡し） ・特定建設資材の再生資源の利用量の把握等 による計画の作成と実施記録の保存	遵守
5. 資源有効利用促進法	・事業系業務廃パソコンのメーカーへの引き渡し	遵守
6. 自動車No x・PM法	・自動車の運転に際し、排出抑制に努める	遵守
7. 家電リサイクル法	・リサイクル及びリユースを確実に行う業者への処理委託	遵守
8. 自動車リサイクル法	・取引業者への引き渡し	遵守
9. オフロード法	・建設機械（オフロード特殊自動車）の排ガス規制（H18～）	遵守
10. フロン排出抑制法	・簡易点検の実施、記録の保存	遵守

2. 違反・訴訟の有無

環境関連法規への違反はありません。 環境関連法規の遵守状況については、「環境関連法規制の
取りまとめ・遵守チェックリスト」を基に遵守評価を行っており、今年度は、**2023年 7月 30 日**に実施し、
その結果、遵守され、問題はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反・訴訟の指摘も過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

エコアクション21の活動の対象期間（2022年8月～2023年7月）について、
代表者による全体評価と見直しと指示を2023年7月30日に実施しました

代表取締役 西岡和紀

見直し結果	変更の必要性の有無及び指示事項
1. 環境経営方針	環境経営方針を浸透させ、継続する
2. 環境経営目標	目標項目の変更の必要性はなく、継続する
3. 環境経営計画	取り組み内容をより具体化させ、新しく取り組んでいる重機使用の軽油について着実に展開、効果を見極めること 軽油やガソリンの使用量や産廃の排出量は施工現場や、工事内容により増減の変化はあるが、継続して取り組むこと
4. 実施体制	実施体制の変更はなく継続
5. その他	特になし

経営者からは、「システムのさらなる浸透と、掲げた環境経営目標の実現に取り組むこと。廃棄物の分別及び排出量の削減については、継続して行うこと。」との指示がありました。

8. その他

環境経営レポートについて

- ・建設業の場合は「エコアクション21建設業者向けガイドライン2017年版」に基づいています。
- ・環境経営レポートは、原則10月末に発行し、公開いたします。

以 上